第３０回東京学芸大学競技会 要項

１．目　　的　①陸上競技の普及・振興を通じて、競技者の心身の健全な発達を図る。
②競技者の競技力向上に寄与する。
③学生競技役員の資質向上を図り、卒業後に各地で活躍できる審判員を育成する。
④障がい者スポーツの普及・振興を目指す。

２．主　　催　東京学芸大学陸上競技部

３．期　　日　2019 年 11 月 10 日(日)　9：30 開始予定

４．会　　場　東京学芸大学総合グラウンド（競技場コード 134190）
東京都小金井市貫井北町４－１－１

５．種　　目

①日本陸上競技連盟（以下、「陸連」）登録者・一般種目

男子	100m　200m　300m　400m　800m　1500m　5000m　4×100mR　4×400mR　4×800mR 走高跳　棒高跳　走幅跳　砲丸投(7.26kg)　高校砲丸投(6.0kg)　中学砲丸投(5.0kg)
女子	100m　200m　300m　400m　800m　1500m　5000m　4×100mR　4×400mR　4×800mR 走高跳　棒高跳　走幅跳　砲丸投(4.0kg)　中学砲丸投(2.721kg)
男女	2×2×400mR(※)

※1 チーム 2 名(男女各 1 名)で構成される。走順は「男子、女子、男子、女子」または「女子、男子、女子、男子」を各チームで決め、交互に 400m を 2 回走る。800m のスタートラインからスタートし、第 1 走者が 800m のブレイクラインを通過した後からオープンとなる。

②視覚障害（T11、T12、T13）※日本ブラインドマラソン協会にお問い合わせください。

男子	T11/1500m　T12/1500m　T13/1500m　T11/5000m　T12/5000m　T13/5000m
女子	T11/1500m　T12/1500m　T13/1500m

③非公認種目・陸連登録者以外

小学生	100m ※小学生は男女及び学年混合レース(目標記録で組み分けを行う)とする。 参加者全員に記録証を配布する。

６．参加資格　５．①2019 年度関東学生陸上競技連盟登録者であること。その他に、関東以外の地区学生陸上競技連盟登録者及び一般・高校・中学の陸連登録者も受け付ける。
５．②T11～T13 の種目は、日本ブラインドマラソン協会の強化指定選手に限る。
５．③陸連登録をしていない小学生であること。本区分は、陸連の認める公認記録にならない。公認記録を希望する陸連登録済みの小学生は、５．①で申し込むこと。

７．参 加 料　1 人 1 種目 800 円　（例）100m と 200m の 2 種目にエントリーする場合 1600 円
リレー 1 チーム 1000 円
※如何なる理由であっても返金はしない。

８．申　　込　2019 年 10 月 20 日（日）～10 月 26 日（土）の期間で受け付ける。エントリー方法については HP の東京学芸大学競技会ページの「申し込み方法」に記載する。
エントリーシートは 10 月 6 日（日）以降に掲載する。

※原則、期間外のエントリーは受け付けない。
※申し込み時の「目標記録」によって番組編成を行う。

９．競　　技　①2019 度日本陸上競技連盟競技規則、2019 World Para Athletics 競技規則及び本競技会競技注意事項による。
②トラック競技は、原則、写真判定システムを使用する。
③走幅跳、砲丸投において、3 回目までのトップ 8 の競技者はさらに 3 回の試技を行うことができる。
④ドーピングコントロールテストは、日本アンチ・ドーピング機構、日本陸上競技連盟及び World Para Athletics の規則に従い実施する。ドーピングコントロールテストを指示された競技者は、競技役員の指示に従ってテストを受けなければならない。

10. 実 施 順　競技実施順は別表のとおりとする。最終的な競技日程は、エントリー確定後に決定する。
※2 種目以上に申し込む場合、各種目の開始時刻はエントリー数によるので、実施順を参照のこと。原則、種目の実施順は、変更しない。

11. そ の 他　①競技中に発生した傷病については主催者で応急処置を行うが、その後の責任は一切負わない。なお、日本学生陸上競技連合普通会員はスポーツ安全保険に加入しているので、補償の対象となる場合がある。
②傷病以外の事故（盗難、等）についても主催者は責任を負わない。
③主催者は、個人情報の保護に関する法律及び関連法令等を遵守し個人情を取り扱う。なお、取得した個人情報は、競技会の資格審査、プログラム編成及び作成、記録発表、公式ホームページその他競技運営並びに陸上競技に必要な連絡、等に利用する。
④競技会の映像・写真・記事・個人記録、等は、主催者及び主催者の承認を受けた第三者が、競技会運営及び宣伝等の目的で、大会プログラム・ポスター等の宣伝材料、テレビ・ラジオ・新聞・雑誌・インターネット、等の媒体に掲載することがある。
⑤競技会の映像・写真・記事・個人記録、等などは、主催者及び主催者の承認を受けた第三者が調査・研究の資料として利用することがある。

12. お問合せ　競技会全般については、以下にお問い合わせください。
競技会担当　tgu.kyogikai@gmail.com